

外国語活動・外国語科

1 令和6年度大田区学習効果測定結果の分析

(1) 全体的に見た分析結果（6年生のみ）

全体的に見て、正答率は目標値より上回っている。

(2) 観点別に見た目標値との比較

知識・技能

正答率は、目標値よりも大きく上回っており学習状況は良好といえるが、一部下回っている箇所もある。

思考・判断・表現

正答率は、目標値よりも上回っており、学習状況は良好といえる。

主体的に学習に取り組む態度

正答率は、目標値よりも大きく上回っており、外国語科に対する関心は高いといえる。

2 昨年度の授業改善プランの検証 【成果（○）と課題（●）】

知識・技能

○数字や天気、曜日など基本的な英単語が身に付いており、聞き取ったり会話で使用したりすることができた。

●似たような発音のアルファベットの聞き取りや、4線上にアルファベットを正しく書くこと、大文字と小文字の書き分けが不十分であった。

思考・判断・表現

○友達との会話において、大まかな内容を理解し、それに対する受け答えをすることができた。

●道案内など正確に聞き取る会話では、細かい部分まで理解しきれないこともあった。

●簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことに課題がある。

主体的に学習に取り組む態度

○習った単語でゲームをしたり友達とコミュニケーションを取ったり、楽しく学習したことで意欲的に英語を話そうとしていた。

3 授業改善プラン

低学年		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な挨拶や身の回りの物を表す英語を知り、英語の音声やリズムに触れさせる。 ・外国語教育指導員の発音を真似て、たくさん話させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な挨拶や質問の英語のフレーズを練習し、それに対する返しをいくつか練習し、友達に質問したり質問し返したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の歌やゲームを通して、コミュニケーションを図る楽しさを体験する。
中学年		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ローマ字の学習から、少しずつアルファベットを読んだり書いたりタブレットで入力する学習を取り入れる。 ・文字が発音されるのを聞いた際に、どの文字かが分かるように確認して慣れさせていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な表現を用いて、挨拶、感謝を伝えたり、簡単な指示に対して応じて動いたりできるようにする。 ・自分のことや身の回りの物に関する事柄について、話型を意識しながら簡単な語句や基本的な表現を用いて質問したり答えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の歌やゲームを通して、コミュニケーションを図る楽しさを体験する。 ・教科書やデジタル教材を活用し、様々な国の文化や習慣の違いを知り、日本との共通点や相違点について話し合う活動を取り入れる。 ・児童の日常生活に関して身近で簡単な事柄を取り扱うようにする。
高学年		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・活字体で書かれた英語の文字を識別し、意味を理解させながらその読み方を発音することができるように練習をして慣れさせていく。 ・簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるように音声で繰り返し聞き、発音の練習をする。 ・自分のことや身近で簡単な事柄について、理解できる単語をヒントにしながら基本的な表現を聞き取ったり短い話の概要を捉えたりできるようにする。 ・アルファベットを聞き分けたり大文字と小文字で書き分けたり、字形や4線上に書く位置に注意したりして書けるよう繰り返し練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な表現を用いて指示や依頼をしたり、それに応じたりすることができるように様々な表現に触れて発音練習をする。 ・自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるように、友達同士、児童と外国語教育指導員の会話を繰り返し練習し、書くことにもつなげていく。 ・友達が言ったことを簡単にメモする、相手を見てコミュニケーションを取るなど相手が言ったことを正確に理解するための取り組みを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書やデジタル教材を活用し、様々な国の文化や習慣の違いを知り、日本との共通点や相違点について話し合う活動を取り入れる。 ・児童の日常生活に関して身近で簡単な事柄を取り扱うようにする。 ・これまで学習した英語の表現を繰り返し練習し、自分の考えや気持ちなどを簡単な語句や表現を用いて話すことができるようにする。 ・語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。